

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人 やまなみ会

障害者支援施設 阿蘇くんわの里

就労支援センター 阿蘇くんわの里

目次

1. はじめに	・・・・・・・・・・	1
2. 施設管理状況	・・・・・・・・・・	1
3. 利用者状況	・・・・・・・・・・	1
4. 職員の状況		
(1) 職員研修状況	・・・・・・・・・・	2
(2) 職員会議等の開催	・・・・・・・・・・	2
(3) 職員資格習得状況	・・・・・・・・・・	2
5. 個別事業報告		
(1) 障害者支援施設 阿蘇くんわの里	・・・・・・・・	2～3
(2) 多機能型事業所 阿蘇くんわの里	・・・・・・・・	3～4
(3) 医務部門	・・・・・・・・	4～5
(4) 給食部門	・・・・・・・・	5
(5) 防災・防火訓練報告	・・・・・・・・	5

1. はじめに

阿蘇くんわの里では、利用者様の高齢化、障がいの重度化による能力の低下が著しく、介助を必要とする方が多数になっている。

本年度はこれを見据えて、ADLの維持及び低下防止を目的とした体調管理に重きをおいた支援に努めた。

生活介護では排泄確認・口腔ケアを全員に実施し、合わせて朝のラジオ体操や毎食前の口腔体操を実施。加えて立位での体操が出来ない利用者様には居室での軽運動の促進に努めた。

生活介護の作業においてはフルーツネット作業だけでなく、今まで作業に参加できなかった方に取り組める布折・紙折等の軽作業を加えた。レクリエーション活動の一環として菜園作業に取り組み、屋外活動での楽しみを増やした。機能低下が顕著になっていることから週1回整体師の協力得て、運動指導を継続して行う。

コロナ感染症の5類可により施設外への日帰り旅行等の取組も再開している。

就労事業に関しては、令和5年12月で生活訓練事業（定員6名）を廃止し、令和6年1月より就労継続支援B型事業（定員40名、現員35名）のみの体制となった。定員を36名から40名に変更したことにより利用者数に空きができた為、現在、相談支援事業所、医療機関、支援学校との連携を図り利用者の獲得に力を入れている。

令和5年5月より新型コロナウイルスが5類に移行され観光業等がコロナ前に戻ってきたこともあり作業受注や商品売上は徐々に増加傾向となった。しかし、光熱費や資材の高騰が続いた為、令和5年10月のインボイス制度導入時に作業単価、馬油製品の価格の見直しを行い変更している。本年度の平均工賃は昨年度より236円高い20,754円であったが来年度は目標である平均工賃25,000円を目指し取り組んでいく。

就労事業に関しては、新規の作業として2ヶ所の駅のトイレ清掃を阿蘇市より引き受ける事が出来、就労事業収入は増加した。しかしながら新型コロナも関係して従来の生産活動の作業量及び収益の確保が厳しくなっている。

給付については、在宅利用者及び職員のコロナ陽性の影響で事業を一時停止するなど行ったが、就労継続支援B型事業の利用者の増加により訓練等給付費は増加したが、施設支援においては利用者の状態悪化等により入院が増加し長期間に及んだ結果、介護給付費は減少し、結果的に前年度より840万円の落ち込みとなった。

2. 施設管理状況

- ・受水槽取替工事
- ・プレハブの床の張替
- ・縫製工場の洗濯機・乾燥機移設工事
- ・食堂照明取替工事
- ・施設周辺の木々の伐採

3. 利用者状況

体験や実習を行い、利用者の確保に取り組んだ。利用される方のニーズに合う提案を行い希望者本人・家族の意向添う事が出来るよう努めた。

(令和6年3月末時点)

	事業	定員	令和4年度 登録者数	令和5年度 登録者数	増減
日 中 事 業	生活介護事業	40	37	38	+1
	就労継続支援B型	40	40	35	-5
居 住	施設入所支援	40	37	37	±0
	短期入所支援	1名(併設型) 1名(空床型)	5	5	±0

4. 職員状況

(1) 職員研修状況

研 修 名		主 催	人数	研修形式
令和5年5月研修会	5/18	熊本県青年施設経営研究会	1	参加
小濱道博講演会	7/10	熊本県青年施設経営研究会	1	参加
第1回施設長・職員研修会	7/25	熊本県社会就労センター協議会	1	参加
発達障がいに関する講演会	7/29	熊本県	1	参加
実務者研修	8/20	熊本県	1	参加
強度行動障害研修	8/24	熊本県	1	参加
社会福祉法人労務研修会	9/7	熊本県社会福祉協議会	2	オンライン
障害者の知識・関わり方(施設内研修)	9/27	小笠原理事長		参加
令和5年10月研修会	10/6	熊本県青年施設経営研究会	1	参加
九州社会就労センター(セルフ)研究大会	11/16	熊本県社会就労センター協議会	2	参加
相談支援初任者研修	11/27	熊本県	1	参加
福祉大会	11/30	熊本県知的障がい者施設協会	1	参加
特別講演会	12/2	熊本県城南地区高齢福祉研究会	2	参加
虐待防止セミナー(施設内研修)	12/11		1	参加
第2回施設長連絡会	12/19	熊本県知的障がい者施設協会	1	参加
第2回施設長・職員研修会	1/19	熊本県社会就労センター協議会	1	参加
種別部会・合同研修会	2/8	熊本県社会福祉協議会	3	参加
施設長会議	2/26	菊池・阿蘇ブロック	1	参加
新型コロナウイルス感染防止対策研修会	2/27	熊本県社会福祉協議会	1	参加
先進地視察研修	3/11	熊本県社会就労センター協議会	1	参加

(2) 職員会議等の開催

全職員に対する施設の基本方針及び重要案件の確認、周知徹底について部署代表者による運営会議・全職員による職員会議を月1回開催。各部署により各支援会議、給食運営会議等をその都度開催した。

(3) 職員資格習得状況

- ・令和5年度 社会福祉主事資格認定通信課程 1名
- ・強度行動障害支援者養成研修(基礎研修) 0名

5. 個別事業報告

(1) 障害者支援施設 阿蘇くんわの里

施設入所支援・生活介護事業・短期入所支援

【サービスの取組み】

利用者様の高齢化及び重度化によるADLの低下が著しく、体調管理・運動促進を重点的に取組み、一人ひとりに目配りが行き届く支援に努めた。排泄確認・口腔ケアを行う。朝のラジオ体操や居室での軽運動を徹底する。

作業については、フルーツネット・サーブ作業(布折・紙折)を積極的に行い利用者様の活動意欲の向上に努めやりのある生活環境造りに努める。レクレーション活動についても利用者様が率先して参加する事が出来つつあるが、継続的に行うことで習慣づくように継続していきたい。

また、生活介護と施設入所支援と併せて、日中事業の中で病院受診や看護師による健康管理、入浴や整容、洗濯や居室清掃といった生活支援、制限ある方のメニューや食事形態といった食事支援、作業及びレクレーションなど利用者サービスが行き届くよう支援、体制の整備に努めた。

課題・次年度への提起

建物については生活棟の老朽化に伴い、改修工事が必要となってきた箇所がある。生活上の優先順位を決めて計画・実施していく。

また、車椅子・歩行器の利用者様が増え、対応の福祉車両の活用や、施設内のバリアフリーに取り組んでいく。

設備整備以外では施設外活動やレクレーションを増やし利用者様主体で行い趣向・意向に沿った計画を立案・実施していく。

業務のスムーズ化を図る為に、連絡申し送りを徹底しケース記録の支援内容を各職員間で相互確認するようにした。

(2) 就労支援センター 阿蘇くんわの里

1. 自主生産・営業 (利用者 5名)

本年度は経費高騰が続いた為、インボイス導入と同時に馬油製品の価格、OEM、下請の作業単価の見直し後、変更を行った。更に、資材発注の仕方、在庫管理、生産調整などを計画的に行い経費の削減に取り組んだ。

営業に於いては、新規取引先へ営業をかけ販売店舗の拡充を図り、新たに2件の店舗との契約を結び、年々顧客及びリピーターも増加傾向にある。馬油お試しセット(和潤精オイル、クリーム、石けん)を販売し、幅広い年齢層にもお買い求めいただけるよう店舗のレイアウトやPOPの充実、オンラインショップ等を見直しを行い、商品の魅力が伝わる内容を工夫しながら取り組んだ。コロナの5類移行後、国内外の観光客も増加してきており、集客の多い道の駅などはこまめに商品補充を行い、収益向上に繋げている。本年度は販売会も数回開催され参加し

た。販売会を通して馬油製品及び事業所の宣伝を行っていきけるよう今後も積極的に参加していく。

2. 下請け (利用者 18名)

ゼリー作業では、ここ数年コロナの影響や季節で作業受注が低迷していたが、本年度は観光客も増加傾向にあり前年度以上の作業受注となった。また、阿蘇薬草園の作業も不定期ではあるが年間を通してみると売上、作業の増加に繋がった。

阿蘇市の委託を請け、赤水駅、内牧駅のトイレ清掃作業を行っているが、次年度も継続して行い、今後、更に別の作業も受託できるよう働きかけていき委託拡大を目指す。また、株式会社丸信様より新しくシール貼りの作業も入ったことで作業も少しずつ増え、利用者の意欲向上、工賃向上に繋がると共に、能力の開発をサポートしながら支援した。今後、工賃向上に向け、現在停止している実習も検討していく。

3. 縫製 (利用者 12名)

本年度は経費高騰のため、タオル作業単価見直しを行い令和5年10月に変更を行った。作業単価変更に伴い、質の維持、向上に努め、縫製班ではスローガン「一枚入魂」を掲げ、日々の売上高を確認、発表することで作業意欲にも繋がっている。また、作業場の環境整備、視覚情報での表示と、利用者が働きやすい環境を構築することで一人一人のスキルアップや作業効率の向上を図っている。

本年度は、取引先であるホテル・旅館の集客増加もあり、タオル作業の受注も回復し、また雑巾の販売元として学校・PTA等に働きかけたことで注文を頂き収益にも繋がった。タオル作業やミシン掛け作業と、利用者の丁寧な作業能力が認められるようになっている。

来年度は月平均売上150,000円を目指し取り組んでいく。

課題・次年度への提起

- ・作業拡充（現取引先や行政、新規店舗・企業への営業活動）
- ・作業班ごとで収入、支出（経費）の把握。
- ・受注生産スケジュールをもとに計画的な作業を行う。マニュアル作成と周知徹底。
- ・作業経費削減の為、資材発注の仕方、電気、交通費などの見直しも行き、作業利益を利用者の工賃向上に繋げる。
- ・売り上げ、販売個数の把握
- ・機械メンテナンスの実施（定期点検）
- ・日中事業の目的を鑑み提供時間内の作業への参加の声かけや、提供時間内の利用者対応を就労支援員が行っていく。
- ・作業班同士で連携をし、別の作業への参加も促しながら意欲、スキルアップにも繋げていく。
- ・体調不良者への速やかな対応、また感染症への感染拡大防止は徹底して行う。
 1. G・Hとの連絡、連携。
 2. 発熱者、感染者、接触者の情報共有。また、隔離、待機期間、対応の徹底。

(3) 医務

【サービスの取組み】

医務においては、利用者の生活に大きく関わりを持っており、食事や入浴、運動、排泄、口腔ケア、睡眠等、臨機応変な支援が必要である。特に衛生管理面では早期の疾病に気付き、重症化する前に医療関係との受診調整または、予防推進に取り組んだ。

各医療機関の定期受診状況

1ヶ月毎	1・2ヶ月毎	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・ 菊陽病院 ・ 市原胃腸科外科 ・ 古嶋眼科 ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 阿蘇やまなみ病院 ・ ピネル記念病院 ・ 阿蘇医療センター ・ ニキハーティイ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 坂梨ハートクリニック (3回/週) ・ きずな歯科 (1回/週)

『身体測定』

- ・ 毎月実施(体重・血圧・脈拍 ※但し身長は4月 年1回)

『健康診断』

- ・ 定期健康診断を10月に実施

『感染対策』

- ・ 施設内に検温器、手指消毒用のアルコールを設置し、常にマスクの着用の声掛けを行い、感染防止に努めた。
- ・ オゾン除菌・脱臭機にて園内の消毒の実施。
- ・ 送迎車、施設内廊下、玄関、手摺り等の消毒の徹底。
- ・ 生活棟の立入規制及び面会制限(緊急時除く)
- ・ 陽性者が出た場合の対処として感染者の在席する事業所の封鎖及び医療機関との連携をとり、抗原検査の実施。

課題・次年度への提起

利用者の高齢化に伴いADL能力の低下が著しく、医療機関や相談支援事業所、関連機関と利用者様のより良い環境構築を行っていきたい。また、レクレーションでリハビリや機能維持が図れるメニューを組み込み、身体能力の向上や利用者様のQOLの向上に繋げていけるように体制を構築し、職員の意識のレベルの向上を目指したい。

(4) 給食

【サービスへの取組み】

コロナウイルスが緩和され、秋祭り等の野外行事での食事提供で利用者の満足度向上に努めた。更に、利用者の要望で工賃支給日の夕食には、入所利用者にアンケートを取り、アルコール提供、誕生月の利用者には手作りの誕生日ケーキとプラス1品を提供し利用者の意見を反映させた取組みを行う中で、利用者から喜びの声を貰うことができ

た。食事形態としては、超刻み食 1 名、刻み食 12 名の提供、咀嚼に応じて粥食、減塩食 1 名、アレルギー対応食 1 名の提供、体調不良の利用者には別メニューの提供の個別対応を行った。

特定給食施設等における栄養管理及び災害時の対応に関する研修に参加し、他施設の管理栄養士・栄養士との意見交換を行い、今後の対応策について学んだ。衛生面では、月一回の業者による害虫駆除及び消毒を実施、3 月には排水管工事をを行った。定期的な検便調査を行い、食中毒、ノロウイルス等の防止に努めた。

課題・次年度への取り組み

課題として、適正体重を上回る利用者が増えている傾向にある為、利用者個々の身体状況を把握し、多職種と情報共有することで、食事・運動の面から利用者を支援、栄養バランスの取れた食事提供を行い、適正体重者率の引き上げに努める。

次年度の取り組みとしては、食事提供加算取得の為の条件が提示され、食事摂取量の記録、6 か月に一度、体重・BMI を記録し、健康管理に取り組む。更に、施設内で行っていた誕生会を外食での食事提供として利用者の満足度向上を目指す。衛生面では、週一回のグリストラップ清掃を行っていく。

(5) 防災・防火訓練報告

火災訓練 4 回、水防訓練 1 回、震災訓練 1 回を行い、災害時の職員の動きや適切な利用者様の誘導・安全な避難ができるように訓練を行った。

加えて毎月の防災設備の自主点検を実施し防災準備を徹底している。

課題・次年度への取り組み

広域消防署・地元消防団と連携した火災、震災、水害等の訓練を取り入れ、災害時にどのような行動を行えばよいかを一人一人が考え行動出来る様、利用者様及び職員により一層注意を喚起していきたい。

令和5年度 実施行事状況

日時	行事	行事食	入所・生活介護	就 労	その他	会 議
4月		誕生日会(26)	散髪			職員会議 給食会議 支援会議 就労会議 ケース会議
5月		誕生日会(23)	福引大会(5) 阿蘇山ドライブ (14) はな阿蘇美(28) 散髪		受水槽工事 水防訓練 (12)	職員会議 給食会議 支援会議 就労会議 ケース会議
6月		誕生日会(27)	買物(18) スポーツ(22) 散髪			職員会議 支援会議 就労会議 ケース会議
7月		七夕(7)、誕生日会 (28) 土用の日(30) セレクトメニュー (牛井・うな井)	散髪			職員会議 支援会議 就労会議 ケース会議
8月	ミニ祭り(10) キッチンカー(15) (かき氷、綿菓子)	誕生日会(30)	阿蘇山ドライブ (13) 花火大会(21) 散髪			職員会議 給食会議 支援会議 就労会議 ケース会議
9月	パラスポーツプレ大 会(27)	誕生日会(29)	馬追い見学(3) 散髪		地震訓練 (25)	職員会議 支援会議 就労会議 ケース会議
10月	パラスポーツプレ大 会(14)	eスポーツ(5) 誕生日会(27) ハロウィンメニ ュー(31)	eスポーツ(5) 散髪		健康診断 (19) 展示商談会 (24)	職員会議 給食会議 支援会議 就労会議 ケース会議
11月	秋祭り(22) インフルエンザ接種 (29)	味千ラーメン(15) 誕生日会(29) セレクトメニュー (ちゃんぽん、皿 うどん)	日帰り旅行(7) 動植物園 阿蘇山ドライブ (19) 散髪	日帰り旅行(8.9) 芸術展鑑賞・テル サ	総合訓練 (25)	職員会議 給食・厨房 会議 支援会議 就労会議 ケース会議
12月	餅つき(20) クリスマスイブ(24) 大晦日(31)	誕生日会(21) 冬至メニュー(22) クリスマスメニ ュー(25)	散髪			職員会議 支援会議 就労会議 ケース会議 厨房会議
1月	元旦(1) どんどや(13)	春の七草(7) 誕生日会(25)	初詣(2) サーカス鑑賞 (22.24.29) マクドナルド 散髪	サーカス鑑賞 (17.31) クウォーレカフェ		職員会議 支援会議 就労会議 ケース会議
2月	節分(3) 手作りおやつ(ク ラブ)(14)	節分(3) 手作りおやつ(14) 誕生日会(26)	サーカス鑑賞(5) アピカ散歩(25) 散髪		消防訓練 (21)	職員会議 給食会議 支援会議 就労会議 ケース会議
3月	ひな祭り(3)	ひな祭り(3) 誕生日会(22) 花見弁当(27)	花見(27) 散髪		消防訓練 (23)	職員会議 給食会議 支援会議 就労会議 ケース会議